

分析手法・選択・分析の進め方を1日で習得！

Zoom セミナー !!	<h1>ものづくり・問題解決のための 機器分析の考え方と進め方</h1> <p>～セオリーと事例・ケーススタディーで学ぶ分析実践力～</p>
LIVE配信のみ (録画配信無し)	

- ◆日時：2024年6月4日(火) 10:30～16:30
- ◆会場：WEB受講のみ (Zoomシステム)  
※LIVE配信のみ(録画視聴ありません)
- ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円  
同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:44,000円
- ◆受講資料：製本テキスト(受講料に含)  
※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円(内税)

まず何から始めるか、どのような手順で分析を進めるか、現象・状況に合わせた分析設計方法、事例・ケーススタディーによる実践力、モノづくりの進め方について、豊富な経験に基づき、演習を交えながら分かりやすく解説する特別セミナー！！

**【講師の言葉】**

研究開発はもちろん、品質保証に関わる製品試験、不具合トラブル解決などありとあらゆるモノづくりの場で機器分析は必要不可欠です。これらにおいては実験が主役であると考えられているケースも少なくないですが、真実は実験をいくらしても分析ができなければ何も言えません。

分析は実験と切っても切り離せないセットのものであり、モノづくりにおいて必要不可欠なものです。

しかし、現実には個々の分析手法の理解が不足していることはもちろん、それに加えて、分析の進め方、すなわち、分析設計ができていないことがほとんどです。とりあえず、手近にある分析を行う、いつも同じ金太郎飴のような分析評価しかないというようなことは日常茶飯事です。これでは、真実の姿は何も見えてきません。

本セミナーでは、分析手法の解説はもちろん、モノづくりや問題解決のための手法選択から分析の進め方といった分析設計について、基本となるセオリーから豊富な事例やケーススタディーを用いて、詳細に解説します。

**【受講形式】** WEB受講のみ

※本セミナーは、Zoomシステムを利用したオンライン配信となります。  
※Live配信のみ、録画視聴はありません。

- 【受講対象】**
- ・研究開発、モノづくりに携わる方
  - ・品質保証部門の方
  - ・製品トラブル解決に関わる方
  - ・分析部門の方
  - ・上記に関わる管理者の方

**【予備知識】** 特に必要ありません

- 【習得知識】**
- 1) まず何から始めれば良いか
  - 2) どのような手順で分析を進めていけばよいか
  - 3) 現象、状況に合わせた分析設計の方法
  - 4) 事例、ケーススタディーによる実践力
  - 5) モノづくりの進め方

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にて願います。

●申込先



〒108-0014 東京都港区芝4-5-1 1-5F  
TEL: 03-6435-1138  
FAX: 03-6435-3685  
E-mail: th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0604 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<https://www.thplan.com/>

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

◆プログラム◆

【講師】 ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士(工学) 奥村 治樹 先生

東レ、パナソニック等にて材料開発・開発マネジメント業務を経て現在に至る

**【イントロダクション】**

分析とは  
分析の位置づけ『悪しき誤解』  
関係性と背景  
高機能化の弊害の注意点

**【分析活用の場合】**

主なタイプ  
品質管理  
トラブル対応  
開発(R&D)

**【分析設計】**

**【接着・剥離を例とした実例】**

分析設計(分析フロー)  
不良要因  
不良の分類  
問題解決アプローチ  
ファーストアプローチ  
現状確認  
対象別候補手法例  
複合要素の分離

**【手法選択】**

材質による選択  
場所、領域による選択  
情報による選択  
分析手法リスト

**【代表的分析手法】**

赤外分光法  
ラマン分光法

X線光電子分光法(XPS, ESCA)  
オージェ電子分光法(AES)  
二次イオン質量分析法(SIMS)  
X線マイクロアナライザ(EPMA)  
SEM, TEM  
走査型プローブ顕微鏡(SPM)  
クロマトグラフィー  
熱分析

**【ケーススタディー】**

ケース①: 異物(露出、内部)  
ケース②: 汚染  
ケース③: 劣化  
ケース④: 条件検討、モニタリング  
ケース⑤: インライン

**【事例&演習】**

配線上異物(露出)  
異物分析(内部)  
アルミ上異物(シミ)  
アルミ上汚染(ハジキ)  
塗膜ハジキ(ハイブリッド分析)  
フィルム上異物(ハイブリッド分析)  
混合物分析  
フィルム上汚染  
表面処理の解析  
プロセス評価(経時変化)

**【まとめ】**

質疑・応答

●申込書・2024年6月4日(火)「ものづくり・問題解決のための機器分析の考え方と進め方」

会社名		〒		住所	
TEL				FAX	
正式所属				正式所属	
受講者名				受講者名	
E-mail				E-mail	
振り込み 予定				通信欄	